

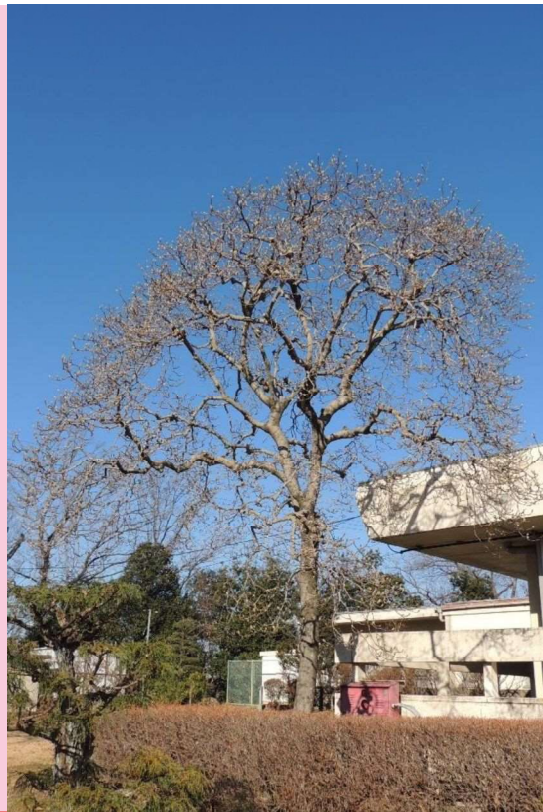
第18期生広報



きらめき

No.2

個性いかして さあすすめ



- 施設見学
- 学部別自主企画
- グラウンドゴルフ大会
- 学園祭によせて
- 学部紹介  
歴史・郷土学部
- 市民大学を振り返って  
戸口事務局長
- 企画委員会委員紹介
- 編集後記

●施設見学Ⅰ

くらしと健康学部

大澤 繁男

令和元年 10月24日、くらしと健康学部は水道庁舎と血液センターの2施設を見学してきました。



日赤・関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所

午前中はまず「東松山市水道庁舎」に向かい、最初に講義室で水道庁舎の業務の概要、水道水のできるまでの過程及び水質検査等について説明がありました。蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水道水も各家庭に配られるまでには、河川等から集められた水を沈殿、濾過、殺菌するなどいくつもの複雑な工程を経て作られることを再認識しました。

先日の大雨で断水した地域の皆様の御苦労を報道番組等で聞きするにつけ、改めて水のありがたさを痛感させられました。

昼食の後、午後からは、市内にある「日赤血液センター」に向かい、到着後スタッフの案内で輸血用血液の製造を見学しました。各地で採血された血液がこのセンターに集められ、無菌状態にして袋詰めされ、各地に配送するという作業が行われています。以前は輸血による肝炎ウイルスやエイズ感染が社会問題になったこともありましたが、現在は輸血用血液も厳重に管理されており、そのような心配はないとの事でした。

今回の企画は、私たちの生活に密接に関

係する「水」と疾病治療に欠かせない「血液」ということで、大変有意義な見学であると思いました。



東松山市建設部水道課：水道庁舎



## 施設見学Ⅱ

国際・文化学部

渡辺 輝美

11月28日、雨の日は続いてきた秋も一段と深まり、紅葉の林の中、私たち一行を乗せたバスは、地球観測センター鳩山に到



着しました。

日々、私たちの生活している地球の環境状態を人工衛星から観測する、リモートセンシング技術の確立・発展の為に、この地球観測センターは設立されたそうです。

敷地の中には直径11.5mの巨大なパラボラアンテナがあり、丁度衛星からのデータを受信する時間に遭遇し、丸いアンテナがこちらを向いたときは皆で「オーツ。」と喚声をあげました。

日々衛星からのデータを受信して、環境



問題の解明や災害監視。資源調査といった幅広い分野で、利用されているとの話に感動しました。

昼食は、大東文化大学の食堂で、若い学生達と同じ場所で、学食を味わいました。

私は、この二つの施設を訪ねるのは今回が初めてでしたので、とても素晴らしい経験になりました。



## 施設見学Ⅲ

### 歴史・郷土学部

鈴木 孝男

農林公園は7つのエリアで構成されている。

果樹園にはブルーベリー、みかんが太陽



東松山市農林公園

光の当たり方、土地の傾斜等を生かして植え込まれている。

遊具広場は広い芝生と5歳以上の子供達がロープジャングルで遊ぶこともできる。

これから農業を始めたい人へのサポート策である体験研修農場では、ニンジン・シヤガイモ・サツマイモ等の栽培並びに販売までを体験できる。

ハイテクを駆使した温室では、12月～5月の間イチゴ摘み取り体験ができ、おいしいイチゴが食べられる。

農産物加工体験施設(管理棟)は農園で作った野菜はもちろん、食材を持ち込み立派な厨房で料理ができ、うどん・そば打ちもできる。光熱費・食器等の使用も含んで1時間200円で利用できる。

研修センターは多目的集会室と会議室を併せもつ一戸建ての家、管理棟で作った料理を食べることもでき、広い集会室にはカラオケセットもあり1時間240円で利用できる。

夏には丘の上のカフェが開業し、ここで飲むコーヒーは格別の味、お土産も購入できる。

時間に縛られず家族で1日ゆっくり過ごせる農林公園は、新しいライフスタイルの始まりかも!!

山中 恭子

少し遅めの紅葉の中、天気に恵まれ、施設見学が始まりました。

午前中は農林公園へ(詳細前述)。昼食を早々に済ませ、有志で傍の横穴墓群(吉見百穴)と吉見町埋蔵文化財センターを上原学部長の解説で見学。

午後は、東松山市埋蔵文化財センターに。市民大学の教室で教えて頂いた佐藤所長に実際の遺物を前に話を聞くと、それぞれの遺物が物語る歴史が、なお一層身近に感じられました。



埋蔵文化財センター  
佐藤所長

●学部別自主企画Ⅰ

くらしと健康学部 柳下 千賀子

10月31日に茨城県の「ひたち海浜公園」の自主企画は、「くらしと健康学部」の自主企画は、



国営ひたち海浜公園

と「メンタイパーク」へのバス旅行でした。公園につくと、とても広いなーというのが第一印象でした。それもそのはず、ディズニールンドの26倍の広さとのことでした。遠くに海が輝いて見え、とても良い眺めでした。

園内散策をしましたが、あまり歩くことのできない私は、園内周遊バスに仲間8人と乗車して廻りました。小さなバスで、ゆっくりしたスピードだったため、周りの景色を十分堪能することができました。

海浜公園といえば真っ赤な「コキア」が有名ですが、あいにくと時期が少し遅かったため、多少色あせていたのが残念でした。しかし、可憐なコスモスが風に揺らぐ姿や、バラの花があたり一面良い香りを漂わせながら咲いているのが、とても素晴らしかったです。

海浜公園を後に那珂湊に移動し、海の幸たっぷりの昼食をおいしくいただくことができました。

食事の後は「メンタイパーク」に向かい、施設内を見学したりお土産を買い、帰路に就きました。



国営ひたち海浜公園

往復のバスの中では食べたり飲んだり、また、ビンゴゲームをするなど終始和やかでとても良い雰囲気でした。このバスハイクで、また楽しい思い出が一つ増えました。企画部及び素晴らしい仲間たちに感謝です。

学部別自主企画Ⅱ

国際・文化学部

山下 七重

目的地はひたち海浜公園。春は、全国的に有名なネモヒラの丘だが、秋は、それに



国営ひたち海浜公園

代わってコキアの丘だという。

そのコキアも少々盛りを過ぎ、おまけに台風通過直後とあっては、未曾有の災厄を被ったこの地域への思いと相まって、誰の胸にも深い哀切と一抹の不安があったことは否めなかった。



笠間神社

ところが、そんな私たちを出迎えたのは、海と空の青を従え、燃えるような赤一色に染め上げられたコキアの丘だった。私たちは思わず息を飲み歓声を上げた後は、そんな秋の絶景を楽しんで過ごした。

その後は、那珂湊で海鮮料理に舌鼓を打ち、笠間日動美術館では質の高い収蔵品に目を見張り、近隣の笠間神社では溢れる菊の香に酔いながら参拝を楽しんだ。

とても日帰りとは思えない充実した内容の旅の中で、それぞれがそれぞれの思いの秋を心ゆくまで満喫したバスの旅となった。



## 学部別自主企画Ⅲ

### 歴史・郷土学部

山崎 義明

秋も深まり、朝夕はめっきり冷え込むようになった10月31日(木)、我が、歴史・郷土学部は、横須賀軍港巡りと鎌倉散策に出かけました。

7時に市民大学を出発し、圏央道を抜け一路横須賀へと走りました。バスの中では、早くも後方で酒好きな人が自ら持ち寄った酒で宴会が始まり、盛り上がりました。



横須賀港

バスを横須賀で降り、遊覧船で50分程軍港巡りをしました。いろいろな海軍の船や潜水艦を船から眺めました。

それから、鎌倉へ向かい、大仏様の前の店で昼食を摂り、最初の全体写真を撮りました。

鶴岡八幡宮では修学旅行生が多数おり、人が混みあっておりました。そこでも2回目の記念写真を撮りました。

その後、鎌倉市内にある日蓮宗妙本寺に行きました。この寺は日蓮宗最古の寺院で、我々歴史郷土を学ぶ者として縁が深く、鎌倉時代の源頼朝に仕えた比企一族の菩提を弔ったお寺です。

隣に比企幼稚園があり、我々の地元に来たような錯覚になりました。お寺のお話を



鎌倉大仏

伺い、皆、神妙な面持ちになりました。帰りの車中も和やかにゲームをしたり、カラオケを歌いました。幹事をやって頂いた企画班の皆様、大変お世話になり、楽しい一日を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。



鶴岡八幡宮

## ●グラウンドゴルフ大会

中村 香澄

10月3日、快晴。大岡運動広場にてグラウンドゴルフ大会が行われた。

参加者は71名。開会式の後、A組・B組に分かれてプレー開始。9月の授業よりご指導いただいたグラウンドゴルフクラブ「らくわ会」の皆様の審判の元で、参加者全員が無事にゲームを終えることができました。

学部別団体戦では、優勝はくらしと健康学部、準優勝は歴史・郷土学部、3位は国際・文化学部でした。個人戦では歴史・郷土学部の高橋勉氏が優勝しました。



この日に至るまで、企画委員全員が夏休み前より計画・準備のため、毎週企画委員会を重ねた結果、本大会が無事にスムーズに遂行できました。

ご協力頂いた皆様に、心より御礼申し上げます。来年度の大会も楽しく終えられることを祈念いたします。







くらしと健康学部



国際・文化学部



歴史・郷土学部

●学園祭に寄せて

自治会長 市川 栄子

初めての学園祭。2年生は昨年1月から、1年生は5月から準備をしてきました。学園祭開催の1週間前に、超大型台風19号が日本に上陸。全国的に大きな被害をもたらしました。家屋の損壊・浸水被害・道路の冠水など百年に一度と言われる台風でした。東松山市も甚大な被害を受けました。

合同の自治会役員会を開き、未曾有の災害を受けた被災者へ義援金箱を用意し、義援金を募ることに決めました。

学園祭は自粛し、祝賀的なものを避け、学生主体の学園祭になりました。一般の参加人数は230名で、例年並みの来校数があ



り、盛況のうちに終わることができました。

今までは、慈善即売会の売上げ金は東松山市の福祉関係に寄付してきました。今回は、そのお金と義援金を東松山市市民課に寄付することにしました。

慈善即売会の額（農園クラブも含む）は九万九千九百五十円、義援金は六万八十円、合計十六万三十円でした。



東松山市長森田光一様から、きらめき市民大学学園祭実行委員会にお礼のお手紙をいただきました。

義援金も多く集まり、開催して良かったと言える学園祭になったと思います。学生の皆様、事務局の皆様、有難うございました。



●学部紹介

歴史・郷土学部

学部長 上原 清文

歴史・郷土学部では、今までどんな授業が行われてきたかその一部を紹介します。

古墳時代、東松山市は県下トップクラスの遺物があります。県で唯一、三角縁神獣鏡が高坂9号墳から出土しています。

古墳前期、武蔵国で大集団が居住した地区がピオニウオークのある反町遺跡です。反町遺跡では、漆を栽培し津（港）を造



三角縁神獣鏡



大谷 扇谷山宗悟寺



大異山 高德院 清浄泉寺にて



り、大和政権や朝鮮と貿易を行っていました。その時に築造されたのが、県下三位全長115mの野本將軍塚古墳です。

平安時代後期、比企地域に比企一族が移り住んだと言われています。比企遠宗の妻、比企の尼は20年間、源頼朝に物心両面からの世話をします。もし彼女がいなければ、

鎌倉幕府の成立は無かったかも知れません。自主企画では、比企氏の鎌倉幕府での居住地妙心寺を訪れました。また、講師の西村裕氏の歴史教室「比企氏伝承探訪」に参加し、比企氏ゆかりの地大谷地区を探索しました。我が、歴史・郷土学部は、東松山市を中心に奥深い歴史を学んでいます。



比企一族の菩提寺 妙本寺



櫛引沼と若狭局の悲話の説明板



比企一族の墓



櫛引沼

●きらめき市民大学を振り返って

事務局長 戸口 好久

第18期生の皆様、1年間大変お世話になりました。入学式以来、自治会活動やクラブ活動を通じて友達づくりに積極的に取り組んでいただき感謝申し上げます。

グラウンドゴルフ大会や学園祭、自主企画授業等、学園生活を満喫していることと思います。今年は、修学旅行や課題研究発表会等まだまだ楽しいことがいっぱい待っています。

私は、皆さんの卒業までいっしょに楽しみたかったのですが、残念ながら3月で定年退職となります。どこかで見かけたら声をかけてください。

今後、皆様のご健勝にて、ますます活躍されることを祈念いたします。お世話になり、ありがとうございました。



吾輩の名前は「ミー」。6月から戸口家に居候している。主人とは同年代のはずである。

●企画委員紹介



佐々木 (国際)

飯田 (くらし)

長谷部 (歴史)

落合 (歴史)

森 (国際)

池田 (くらし)

山下 (国際)

中村委員長 (国際)

山崎 (歴史)

秋田谷 (国際)

編集後記

グラウンドゴルフ大会、学園祭、施設見学、学部別自主企画と活動的で刺激的な行事が次から次へと実施され、気が付けば令和元年から2年に。そして、2年生での研究課題に向けての準備が始まりました。この先、どんな学園生活が待っているのか。

18期生広報では、読みやすい広報誌を作りたいと、写真を多く載せています、寄せられた記事は、内容や思いを短い文章で伝えるため、ことばを選び文章を構成し書かれています。限られた文字数にまとめて頂きありがとうございます。

今回の広報委員は、初入学の者がほとんどのため、広報誌について、ご提案やご意見を頂けると幸いです。

第18期広報委員会

- くらしと健康学部
- 大澤 繁男
- 長島 八重子
- 福田 修二
- 国際・文化学部
- 石川 保夫
- 島野 敏子
- 伊東洋美
- 歴史・郷土学部
- 上原 清文
- 清水 茂
- 加島 一彦
- 長島 悦子
- 山中 恭子